

はばたき

上中学校図書館通信
2025年 6 月号
学校司書 松石かおる

1, 2 年生は校外学習、3 年生は修学旅行と楽しい行事がありました。みなさんどうでしたか？楽しかったですか？図書館にはサポーターの方々が製作して下さった『楽しみの木』があります。何人かの人に校外学習や修学旅行で楽しみにしていることを書いてもらいました。これからも、楽しいことが、たくさんあると思います。良かったら、これから楽しみにしていることを書いてみてください。
「言葉は現実化する」と言われます。楽しいことを言葉にして、口にして、叶えてください。

☆日本の四季、二十四節気、七十二候について

日本には、季節を細やかに感じる昔ながらの暦があります。四季をそれぞれ 6 分割した二十四節気は、昼と夜が同じ長さになる春分と秋分、一年で昼が最も長い夏至と夜がもっと長い冬至の 4 つの季節を基盤として 1 年を 24 に分けたものです。そしてそれらをさらに 3 つに分けた七十二候は、その季節を表現する名称がつき、5 日ごとに移り変わる日本の自然や風物を学ぶことができます。
四季折々の変化をみなさんにも感じ取ってもらえたらと思います。

☆6 月 5 日は環境の日、6 月は環境月間です

1972 年ストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められ、国連では「世界環境デー」と定めています。大阪・関西万博では、「世界環境デー2025 ユースイベント プラスチックごみのない未来をめざして」というテーマで中高生を対象とした話し合いが、実施されています。

☆夏休みの課題図書が決まりました！

第 71 回「青少年読書感想文全国コンクール」の課題図書が決まりました。
中学校の部は、『わたしは食べるのが下手』（天川栄人著）、
『スラムに水は流れない』（ヴァルシャ・バジャージ著/村上利佳訳）、
『鳥居きみ子 家族とフィールドワークを進めた人類学者』（竹内紘子著）の 3 冊です。



(5/21～)

分類	書名	著者	内容
1:哲学	独学の思考法 地頭を鍛える「考える技術」	山野弘樹	答えなき時代に求められる「独学」の力
	格差の"格"ってなんですか？無自覚な能力主義と特権性	勅使河原麻衣	いつもゴキゲンで、新しい"規範"に乗っかれる人だけが「しあわせ」に生きられるってことで、いいの？
	心はどこへ消えた？	東畑開人	この本のすべての章で、人々が変身する瞬間が描かれているはずです。ただし、その変身は、スーパーマンになったり、狼男になったりするような派手なものではありません。そこにあるのは小さな揺れです。
2:歴史	一冊でわかる大正時代	大石学/監修	近代国家となり、国際社会の一員となった日本に、世界情勢の波が押し寄せて、大衆を突き動かす。
3:社会科学	自分のあたりまえを切り崩す文化人類学入門	箕曲在弘	私があたりまえと思っていることって、本当にあたりまえなのかな？
4:自然科学	そのギモン、カガクのチカラで答えます	日本経済新聞社編集サイエンスグループ	科学記者が第一線の専門家に取材し、科学の基礎から丁寧に執筆しています。
9:文学	C線上のアリア	湊かなえ	ごみ屋敷の奥に眠る開かずの金庫 一冊の本に導かれ過去の扉が開く
	おいしい旅 初めて編	近藤史恵・坂木司等アミの会編	仕事に行き詰まり、勢いで列車に乗り終点まで…旅先では驚きの出会いが待っていた。さまざまな「初めて」の旅を描いた7編。読めば必ず出かけたくなる、文庫オリジナルアンソロジー。
	カフカふかふか	下園りさ・木田綾子編著	ぐるぐる回る物語。わからないのに読みたくなるカフカ作品の魅力あれでもか、これでもか。
	ゆびさきに魔法	三浦しをん	育児中も、おじさんも、俳優も、ネイルのある毎日はいつだって幸せ。クスリと笑えて胸温まる一。しをん節炸裂！ザ・王道お仕事小説。
	これが最後の仕事になる	小川哲・五十嵐律人・米澤穂信ら	最初の1行は全員一緒。1編6ページ、24種の「最後の仕事」。早起きした朝、昼の休憩、眠れない夜一。ここではないどこか、今ではないいつかへ、あなたを連れ出す7分半の物語。
	いただきますは、ふたりで。恋と食のある10の風景	一穂ミチ・古内一絵等	美味しい食事の向こうで側で、いまふたりの物語が始まる一小説とエッセイで描く10の恋と食のアンソロジー。
	殺人事件に巻き込まれて走っている場合ではないメロス	五条紀夫	親友を救うため走るメロスに立ちふさがるのは殺人事件！？
	月とアマリリス	湊かなえ	北九州の山中で発見された白骨化した遺体。あなたは誰？どんな人生を送ったの一声なき声が届くなら今度こそ記者を諦めない。

(裏面もあります)

購入次第、新刊として貸出しようと思っています。興味のある人は、ぜひ読んでみてください。